



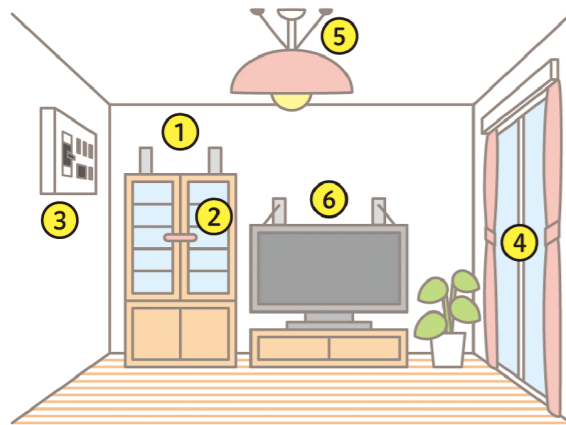
STEP 4 家の中と外を確認!

「いざという時」に備えよう!

🏠 自宅を避難所に!(家の中)

家の中を安全にしよう!

家具や家電、建具に一工夫をすることで地震時の揺れから命を守ります。



- 1 家具を固定する
- 2 扉・戸棚にストッパーをつける
- 3 分電盤に感震ブレーカーをつける
- 4 窓ガラスに飛散防止フィルムをつける
- 5 吊り照明を固定する
- 6 テレビを固定する

ローリングストックをしよう!

普段から食べ慣れている食料を食べながら、切らさないように少し多めに買い足しておくこと(ローリングストック)で、災害時にもいつもと同じような食事ができます。さらに、カセットコンロとボンベがあれば、冷蔵庫にある腐りやすいものから調理ができます。



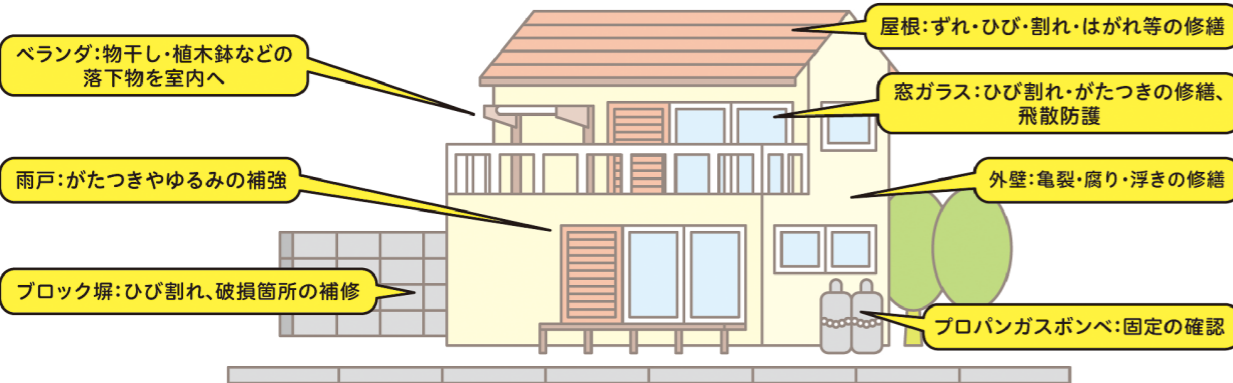
トイレ対策をしよう!

排水管に異常がないことを確認できればトイレは使えますが、断水に備えて流さないトイレ対策を用意しておくことで安心です。



*オムツ、ペットシート、猫砂、新聞紙などでも活用できます

🏠 自宅を避難所に!(家の外)



もっと、「防災」について取り組みたい!

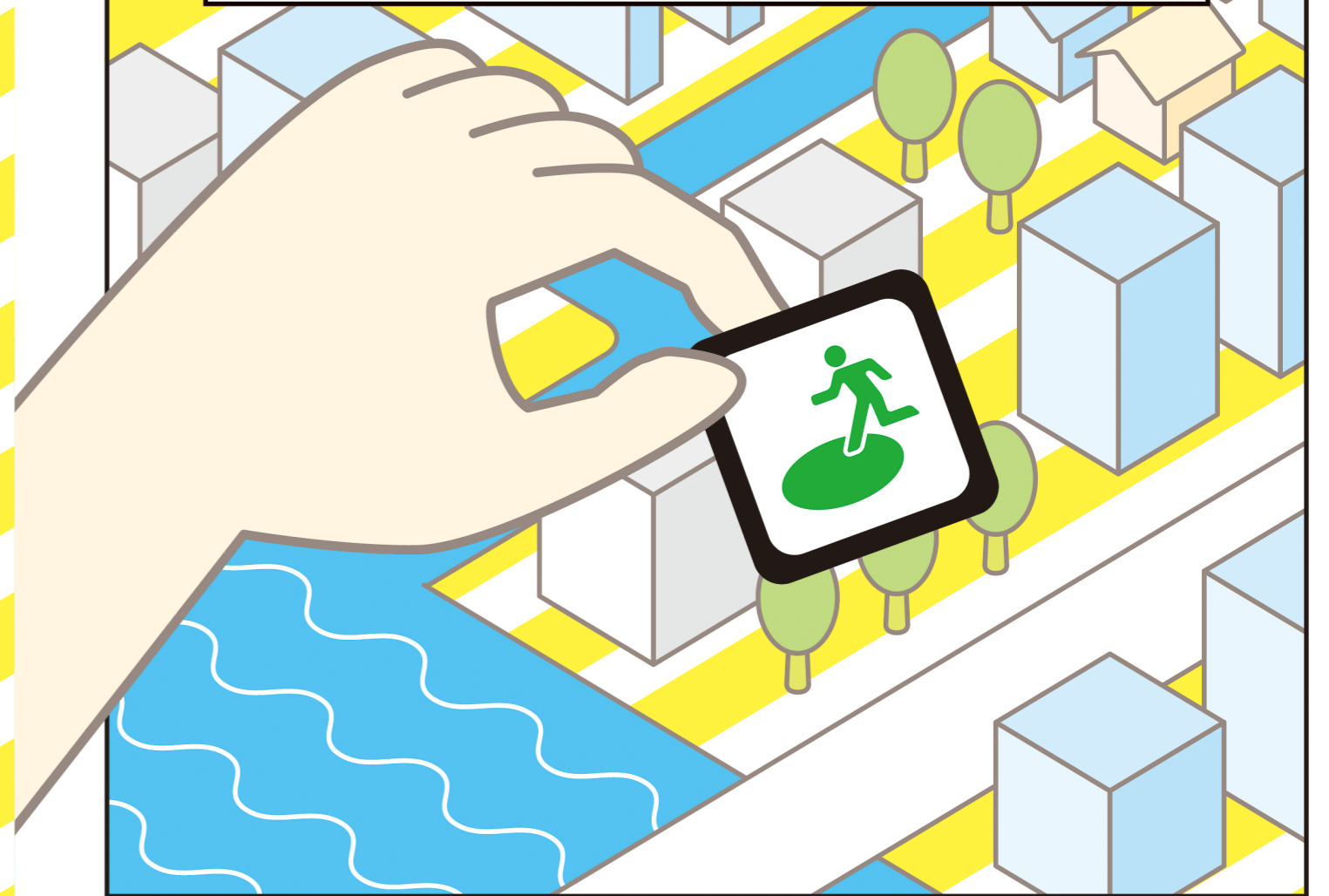
Point! 神奈川県や横浜市では防災対策に関する補助事業があります。各事業には、申し込み条件や期限などがあります。詳しくは、総務課(防災担当)☎411-7004までお気軽にお問い合わせください。

神奈川県横浜市神奈川区役所 令和6年9月発行
〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町3-8 電話:411-7004 FAX:324-5904

貼るだけ
かんたん!

自分でつくるmy防災マップ

マップとシールで災害への備えを考えよう!



災害による被害を軽減するためには、自分の住むまちの災害リスクを知ることが重要です。発災時に、落ち着いて行動ができるように、各家庭で事前に「自分でつくるmy防災マップ」を作成して、大切に保管しておきましょう!

横浜市神奈川区役所



区マスコミキャラクター
「かめ太郎」

STEP 1 貼るだけかんたん! 神奈川県防災マップにシールを貼ろう!

1 マップのおもて面を
広げ、あなたの家に



このシールを
貼りましょう



2 マップのおもて面を見て、あなたの家は
延焼しやすい地域と周辺図 津波避難対象区域と周辺図 の中に入っていますか?



マップをうら面にし、おもて面と同様に

家のシールを貼り* 3 4 5 へ進みます

* 延焼しやすい地域と周辺図 津波避難対象区域と周辺図
両方にまたがる場合は、それぞれにシールを貼って進めましょう
* あなたの家が □ 延焼しやすい地域 □ 重点対策地域(不燃化推進地域)
津波避難対象区域 に入っているか確認しましょう

そのまま
おもて面を使い
3 4 5
へ進みます

- 3 災害時の安全な場所にシールを貼りましょう
- 指定されている「地域防災拠点(指定避難所)」
- 家の近くの「広域避難場所」
- 自治会・町内会で決められている「いっとき避難場所」

※津波避難対象区域の中にある方は、家の近くの



津波避難施設 頑丈な建物にもシールを貼りましょう

4 家の近くの土砂災害危険箇所(マップの中の土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域)や急傾斜地崩壊危険区域にシールを貼りましょう。

Point!

横浜市では、毎年、台風や集中豪雨によりけが崩れが発生しています。



5 災害時に危険だと思ふ場所にシールを貼りましょう

Point!

マップでわかる情報以外にも、住んでいる人だからこそのわかる災害時に危険かもしれない場所があります。

例

- 古いブロック塀
- 建物の外壁、窓ガラス
- 看板などの落下物
- など

4 5 身近な危険箇所を確認し、地震の後や大雨の時には、近づかないようにしましょう

STEP 2 マップを見ながら「いざという時」を考えてみよう!

まずは在宅避難を検討!!

災害時、自宅の状況を確認し、自宅で安全を確認できる場合には、在宅避難に努めてください。

事前の備え

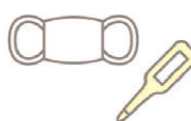
在宅避難に備え、食料やトイレパック等の備蓄品を最低3日分(できれば1週間分)準備してください。



避難所・避難場所だけでなく、親戚や友人の家への避難も検討してください。

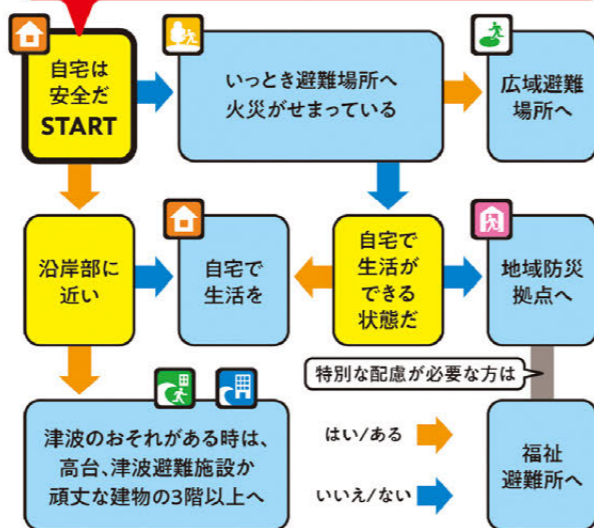


避難所・避難場所に避難する際には、持参する非常持出品に、マスク、体温計等も含めてください。



大地震が起きたら?

大地震発生!



特別な配慮が必要な方は

はい/ある →
いいえ/ない →

STEP 3 「いざという時」の連絡方法を確認!

Point! 電話が繋がらない時は、「災害用伝言ダイヤル171」を活用しましょう!

171
171で発信

録音 1
再生 2

() -
ガイダンスにしたがって電話番号を入れます

SNSなど複数の連絡手段があると安心です。

※災害時に設置される特別な回線ですが、毎月1日と15日などに試すことができます
※固定電話・携帯電話・スマートフォンでも使用することができます

マップにシールを貼ることであなたの家の周りの危険な場所や役立つ場所を把握することができます。「いざという時」を考えて、my防災マップをつくりましょう。



ファイル

マップとシールをしまっただけでなく役立つ情報も紹介しています



マップ

あなたの家や安全な場所などにシールを貼りましょう
※マップは両面あります



シール

目的に合わせてマップへシールを貼りましょう

Point! 災害時に役立つ場所にシールを貼りましょう。

- 災害時給水所(マップの)、帰宅困難者一時滞在施設(マップの)、災害用井戸協力の家(マップの #)
- 福祉避難所(マップの)、地域の防災倉庫・医療機関・自治会、町内会館・役所などの行政機関
- 食料品、日用品の販売店・海拔表示 など